

神奈川大学野球 秋季しあす開幕

連覇狙う神大筆頭

神奈川大学野球秋季リーグ第一部は9月1日、横浜スタジアムで開幕する。14校の秋季連覇を狙う神奈川大を筆頭に、神奈川工大、関東学院大、桐蔭横浜大などが激しい優勝争いを展開しよう。明治神宮大会につながる関東地区選手権大会の出場権（上位2校）を懸けた戦いの行方を要する。

（矢部 真太）

工大など激しいV争い

神大は春と同じくエース中野が抑えを務める。交流戦で横浜DeNAベイスターズの2軍を6回2安打無失点に抑えた吉村が先発陣も安定している。今春MVPの夏井、打率3割7分8厘の政井らに加えて、岡田がけがから復帰し、打線に厚みが増している。

工大は3季連続ベストナインの下町、今春4ホーマーの長嶋、打率5位の川島健ら打線が強力。投手陣では1年浅野が今春3勝、左腕浅野もタフな投球が光る。

（矢部 真太）

【1部】	
9月1日 (土)	①神奈川大 ②横浜国大
2日 (日)	①横浜国大 ②神奈川大
8日 (土)	①神奈川大 ②横浜国大
9日 (日)	①横浜国大 ②神奈川大
15日 (土)	①神奈川大 ②横浜国大
16日 (日)	①横浜国大 ②神奈川大
23日 (日)	①神奈川大 ②横浜国大
24日 (月)	①横浜国大 ②神奈川大
29日 (土)	①神奈川大 ②横浜国大
30日 (日)	①横浜国大 ②神奈川大
10月6日 (土)	①神奈川大 ②横浜国大
7日 (日)	①横浜国大 ②神奈川大
13日 (土)	①神奈川大 ②横浜国大
14日 (日)	①横浜国大 ②神奈川大
(注) 横浜は横浜スタジアム、相模原はサードフィールド・相模原球場、関東学院大は関東学院大ギオンパーク。試合開始時刻は①10時30分②13時③9時④11時30分⑤14時	
【2部】	
9月8日 (土)	①東京工芸大 ②田園調布大
9日 (日)	①田園調布大 ②東京工芸大
15日 (土)	①鶴見大 ②松蔭大
16日 (日)	①松蔭大 ②鶴見大
22日 (土)	①鶴見大 ②松蔭大
23日 (日)	①松蔭大 ②鶴見大
10月6日 (土)	①東京工芸大 ②田園調布大
7日 (日)	①田園調布大 ②東京工芸大
13日 (土)	①東京工芸大 ②田園調布大
14日 (日)	①田園調布大 ②東京工芸大
(注) 工大は神奈川工大KAITスタジアム、工芸大は東京工芸大野球場、相模原はサードフィールド・相模原球場。試合開始時刻は①9時②11時30分③14時	

エース石丸・赤岡、上内を中心に細かい継投で最少失点を守り抜く。横浜商大は勇退する名將・佐々木正雄監督の最後を飾りたい。今春のホームランの覇を争う。

（矢部 真太）

神大・中野

「最後は自分が抑えて優勝する。もうやるしかない。神大の中野はエースの自覚を強くする。」

今春は新任の岸川雄二監督（45）から適性を見いだされ、抑えに転向。最速146キロの直球とチェンジアップを武器にリーグトップの防御率1.2。今月のベストスターズ2軍との交流戦でも最終回に登板し、「格上だろうが関係ない」と思い切りよく、2三振を含む三番凡退でアピールした。

神大中野 エースの自覚強く

しもひがし・りょう 内野手。山梨・東海大甲府高出身。179センチ、83キロ。右投げ左打ち。情報学部4年。



力強い打撃でチームを引っ張る神奈川工大の4番下東

工大・下東

理想像は2年前の大エースで、ベイスターズで活躍する浜口だ。「500打を出したい。その上は。」と卒業後は社会人野球を続けることを見据えて、今夏も球威アップへ体幹強化に努めた。

強打の工大で4番に定着するのが絶対的なエース不在というチーム事情を踏まえ「東にな

4番「打って勝つ」工大

つて、打って勝つ」と使命感を抱く。3年春以降の通算打率は3割3分7厘。ベストナインに3季連続で選出されたリーグ屈指の強打者だ。昨秋は初出場した関東選手権で首都リーグの日体大と対戦したが自身は1安打に終わり、2大振りして差し込まれた。強豪から打てなければリーグ優勝は難しいエースの差を感じた。以降、コンパクトなスイングを徹底。背筋を鍛え、逆方向への打撃の強化にも努めて、打者としてひとまわり成長した。県野球交流戦のJX-ENNISQ戦はチーム3安打に終わった中で2安打と力を吐き、「追い込まれてからも必ずランナーを返す打撃をしたい」と力強い。フルスイングで創部初のリーグ優勝へ導く。

ピンチでも顔色を変えない神奈川大のエース中野



なかの・たかと 投手。大分商高出身。176センチ、72キロ。右投げ右打ち。人間科学部4年。